

KEEP GOING

～見方考え方を働かせた
深い学びの実現～

1年生 国語科の実践 「やくそく」

1. 単元目標

- ・文の中における主語と述語の関係に気づくことができる。

【知識及び技能(1)力】

- ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。

【知識及び技能(1)ク】

- ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。

【思考力，判断力，表現力C（1）イ】

- ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる

【思考力，判断力，表現力C（1）エ】

- ・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。

【学びに向かう力，人間性等】

2. 本時のねらい

本時(6, 7／7)のねらい

- ・ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

【思考力， 判断力， 表現力C（1） Ⅱ】

3. 実践の内容

(1) ICT活用場面

- ・好きな場面を選び、登場人物になりきって音読をしたものを 動画にとる。

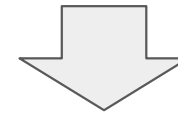
(2) ICT活用のねらい・よさ

- ・自分でとった動画を見直して、何度も撮りなおし、よりよい動画にすることができる。
- ・友達の撮った動画を見合うことで、友達のよさに気づいたり、自分の動画に生かしたりすることができる。

4. 児童の様子



好きな場面を選んで、登場人物になりきって音読する。何回か動画を撮り、一番よかったものをオクリンクで提出する。



友達の動画を見て、よいところを見つけ、自分の動画をよりよいものにする。

5. 成果

- ・ 自分の音読を見返すことで、客観的に聞くことができ、もっとよくなるためにどんな工夫をしたらいいのかを考えることができた。
- ・ 一人ずつ音読発表を聞き合う活動に比べると、友達の音読を選んで集中して聞くことができたため、友達の良いところにも気付くことができた。

6. 課題

- ・ イヤホンのマイク機能をまだうまく使うことができず、マイクに気を取られてなりきって音読することができなかったり、音声周りの音に紛れてしまった。